

土壌分析結果および施肥提案の見方

土壌分析結果および施肥提案 (施肥提案)

測定店舗

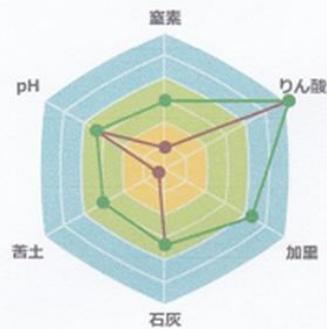
(例)

基本情報

測定日	2019年01月16日	依頼者	太陽商会
作付面積	8 (反)	区画名	
作土深さ	20cm	土質	壤土
作物	夏秋きゅうり	地域	岩手
備考			

土壌バランス

- 高
- 基準値
- 低
- 測定値
- 施肥後予測値



ポイント

窒素が不足気味で、りん酸-加里が多めです。L型肥料や単肥で整えましょう。
 苦土に対して加里、石灰が多めです。
 苦土が不足気味です。苦土資材を施用してください。石灰は適正です。

分析結果

成分・項目	単位	測定値	基準値	低	基準値	高	施肥後予測値
窒素	mg/100g乾土	5.7	12.0~18.0	●			15.0
硝酸態窒素		5.7	—				
アンモニア態窒素		0.0	—				
りん酸		35.2	5.6~8.4			●	35.2
加里		39.5	24.0~36.0			●	39.5
石灰		143.4	86.0~172		●		143.4
苦土		4.7	30.6~61.3	●			46.0
pH	pH	6.5	5.5~7.0		●		6.5
EC	mS/cm	0	—				
石灰/苦土比	meq/meq	21.9	1.0~4.0			●	2.2
苦土/加里比		0.3	2.0~6.0	●			2.7

施肥提案

資材	反当たり 必要施肥量 (kg/反)	作付面積に 対する 必要施肥量(kg)	一袋入数 (kg/袋)	必要数 (袋)	成分比率 (%)					備考
					窒素	りん酸	加里	石灰	苦土	
硫酸マグネシウム	330	2639	20	132	0	0	0	0	25	
尿素	40.6	325	20	17	46	0	0	0	0	

【注意事項】
 ※本シート記載の土壌分析値は、シャープライフサイエンス株式会社 土壌分析装置 (EW-THA1J)で測定したものです。
 ※環境や測定条件等によって測定結果に誤差が生じる場合があります。
 ※施肥目標値は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の研究成果である「施肥・減肥基準データベース」をもちに、各都道府県の作物における元肥の基準施肥量から算出しております。(一部、追肥も含めた基準施肥量から算出しているケースもあります。)
 ※施肥目標値の算出にEC値は使用していません。
 ※施肥提案はあくまで参考例であり、測定店舗、販売代理店およびシャープライフサイエンス株式会社は農作物等の収量・品質等に関する保証はいたしません。

◆ 基本情報

依頼者・作付面積・区画名・作土深さ・土質・作物・地域・備考
これらは土壌分析申込書の記載内容を基に表示しています。

◆ 土壌バランス / ポイント

土壌分析結果は、レーダーチャート形式で表示します。

窒素・りん酸・加里・石灰・苦土・pHの各測定値が基準値に対して足りているのか、高いのか、低いのか判断できます。

施肥後予測値はあくまで参考例であり、農作物等の収量・品質等に関する絶対的な保証をしているわけではありません。

ポイント欄は、圃場の所在地（都道府県）とそこで作付する作物の土壌成分基準値に照らして診断コメントが記載されます。

◆ 分析結果

成分・項目	主な役割
窒素	タンパク質・核酸・葉緑素等の主要構成元素、生育の促進
硝酸態窒素	タンパク質・核酸・葉緑素等の主要構成元素、生育の促進（速効性が高い）
アンモニア態窒素	タンパク質・核酸・葉緑素等の主要構成元素、生育の促進（アンモニウムイオン中の窒素の量）
りん酸	核酸・核タンパク・リン脂質の構成成分、エネルギー代謝に関与、開花結実の促進
加里	光合成・炭水化物の蓄積に関係、開花結実の促進
石灰	土壌中の有効な石灰量を示し、この値が低くpHが低い場合は石灰でpHを調整
苦土	葉緑素の核となる重要な成分、食味向上や果樹の糖度向上などに役立つ
pH	土壌の酸性・アルカリ性を示す指標、6.0を下回ると酸性と呼ばれる
EC	電気伝導度と言い土壌の塩類濃度を示す尺度、高いほど養分量が多い
石灰／苦土比	石灰が多いと苦土の吸収を妨げることからpH調整で石灰を用いる場合は苦土とのバランス考慮
苦土／加里比	土壌中の苦土と加里のバランスの指標、互いにバランスの取れた施肥が大事

◆ 施肥提案

土壌分析結果から普段お使いの資材（肥料）の必要施肥量をご提案します。

従いまして、土壌分析申込書の使用肥料名、窒素・りん酸・加里・石灰・苦土・アルカリ度の成分比率（%）、容量（kg）は、性格にご記入下さい。

尚、ご希望者には岩手コンポスト(株)の有機質肥料を使った施肥提案をお出しすることができます。